議決された主な議案等

※下記以外の議案等への賛否については、議会事務局へお問い合わせください。

○：賛成　－：反対　退：退席　除：除斥

会派名			鎌倉プロジェクトの会夢				みんなの鎌倉				公明党鎌倉市議会議員団			鎌倉みらい			日本共産党鎌倉市議会議員団		神奈川ネットワーク運動・鎌倉		公正、公平、透明な政治を実現する鎌倉会		自由民主党鎌倉市議会議員団		無所属			
議員名			◎髙橋浩司	日向慎吾	永田磨梨奈	小野田康成	◎久坂くにえ	河村琢磨	中村聡一郎	渡辺隆	◎納所輝次	西岡幸子	大石和久	◎前川綾子	池田実	山田直人	◎吉岡和江	赤松正博	◎三宅真里	保坂令子	◎岡田和則	長嶋竜弘	◎中澤克之	上畠寛弘	千一	竹田ゆかり	渡邊昌一郎	松中健治
主な議案等		議決結果																										
条例	第52号	鎌倉市営住宅条例及び鎌倉市ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算	第54号	平成25年度鎌倉市一般会計補正予算（第５号）（交通社会実験実施業務委託料の追加等）	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	第41号	第３次鎌倉市総合計画基本構想の一部修正について	可決	○	○	○	○	○	－		－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	第42号	第３次鎌倉市総合計画第３期基本計画の策定について（修正案）	否決	－	－	－	－	－	－		－	－	－	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	－	－
	第42号	第３次鎌倉市総合計画第３期基本計画の策定について（原案）	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	－	－	－	－	○	○	○	○	○	－	○	－
	第45号	指定管理者の指定について（笛田公園）	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議案	第９号	市民の請願･陳情権を守ることを確認することに関する決議について	可決	－	－	－	除	○	退		退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	退	○	○	○	○	○	○
	第10号	予防接種法に基づく健康被害者の速やかな救済を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第11号	要支援者への予防給付を市町村事業とすることに関する意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○		○	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	○	○	－	○
陳情	第121号 第122号	住宅リフォーム助成事業の継続を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○

※会派は、政策を中心とした同一の理念を共有する２人以上の議員で構成されます。本市議会では、会派に属する議員は代表質問を行ったり、議会運営委員会の委員となり、議会運営に関する協議を行うことができます。

※◎は会派の代表者
※中村聡一郎議員は議長のため、採決には参加していません。

今定例会では、議会から４件、市長から23件の議案が提出されました。主な議案の内容及び議会における議決結果は次のとおりです。

主な議会提出議案

市民の請願・陳情権を守ることを確認することに関する決議について

憲法第16条に定められた請願及び本市で請願同様に扱っている陳情について、議員は、憲法を尊重し擁護する義務を負っていることを再確認するとともに、市民が安心して請願・陳情を提出できる環境に資することを決意するものです。

議会では、多数の賛成により、原案を可決しました。

（全文は3面をご覧ください）

予防接種法に基づく健康被害者の速やかな救済を求める意見書の提出について

予防接種による副反応被害者の立場を考慮し、速やかな救済制度体制の構築及び相談事業の拡充を図ること等「予防接種法」に基づく健康被害者の速やかな救済を求めることに関し、国・県に意見書を提出しようとするものです。

議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

（意見書全文は3面をご覧ください）

要支援者への予防給付を市町村事業とすることに関する意見書の提出について

要支援者への予防給付を市町村事業に移行せず、保険給付を引き続き継続するよう政府に意見書を提出しようとするものです。

議会では、多数の賛成により、原案を可決しました。

（意見書全文は3面をご覧ください）

主な市長提出議案

鎌倉市風致地区条例の制定について

「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行に伴い、これまで県が制定していた風致地区条例を、平成24年4月1日から3年の猶予期間内に、各市町で制定することとなったため、必要な事項を定めようとするもので、平成26年4月1日から施行しようとするものです。

議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

鎌倉市営住宅条例及び鎌倉市ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」の一部改正に伴い対応する二つの条例の規定の整備を行おうとするものです。

主な改正内容は、鎌倉市営住宅条例に規定する単身者向け市営住宅の入居者資格に、生活の本拠を共にする交際をする関係にある相手及び当該関係であった者からの暴力等を受けた者を加えようとするもので、平成26年1月3日から施行しようとするものです。

議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

第3次鎌倉市総合計画基本構想の一部修正について

社会の変化を踏まえ、平成8年度から30年間を構想期間とする第3次鎌倉市総合計画基本構想の一部修正を行うものです。

議会では、多数の賛成により、原案を可決しました。

第3次鎌倉市総合計画第3期基本計画の策定について

平成24年度からスタートした後期実施計画において大きな財源不足が生じる結果となっている中、公共施設老朽化に伴う維持管理費等の増大や防災・減災対策等の緊急を要する課題への取り組みに対応するため、平成27年度までを計画期間とする第2期基本計画を平成25年度までで終了させ、平成26年度から31年度までの6年間を期間とする新たな計画として策定するものです。

議会では、総務常任委員会から提出されました修正案を少数の賛成で否決し、原案を多数の賛成により、可決しました。

補正予算

◇一般会計補正予算

住民記録システムの再構築に向けた事前データチェック作業委託に係る経費、子ども・子育て支援新システム構築委託料、私立幼稚園長時間預かり保育支援事業に係る補助金、名越クリーンセンター光熱水費に係る経費、準用河川新川護岸根固め工事に係る経費の追加などをしようとするものです。

歳入歳出いずれも９９１０万円を増額し、補正後の総額は５８７億５７６０万円となります。

議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

◇下水道事業特別会計補正予算

平成24年度鎌倉市下水道事業特別会計決算における消費税及び地方消費税並びに雨水排水施設の維持修繕業務等に係る経費の追加などをしようとするものです。

歳入歳出いずれも２６２７万８千円を増額し、補正後の総額は、69億４３９０万円となります。

議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

人事案件

市長から鎌倉市監査委員及び鎌倉市固定資産評価審査委員会委員の選任についての議案が提出されました。

議会では次の方を選任することに同意しました。

【鎌倉市監査委員】

八木　隆太郎氏（玉縄在住）

任期は、平成25年12月18日から4年間です。

【鎌倉市固定資産評価審査委員会委員】

牧浦　義孝氏（玉縄在住）
横松　佐智子氏（長谷在住）
山口　吉一氏（常盤在住）

任期は、平成26年2月7日から3年間です。

陳情の議決結果

【採択した陳情】

◇住宅リフォーム助成事業の継続を求める陳情（ほか同要旨の陳情1件）

両陳情の要旨

平成26年度以降も引き続き住宅リフォーム助成事業を継続することを求めるもの。

委員会及び本会議の審議結果

委員会では総員の賛成により採択し、本会議では多数の賛成により採択しました。

【訂正とおわび】

前号（第223号）第4面「議決された主な議案等」の表中、「決算第22号平成24年度鎌倉市一般会計歳入歳出決算の認定について」における議員別賛否のうち、竹田ゆかり議員の欄が、「○」（賛成）となっていましたが、正しくは「－」（反対）でした。訂正しておわびいたします。

編集後記

12月議会は市長選挙後、初めての議会でした。二元代表制を鑑み、様々な分野・視点から市長の二期目の施政方針をただした内容となりました。そして、本紙一面に掲載した通り、本議会では議会基本条例制定を検討する中、市民の皆様の意見を広く伺うためにオープンミーティングを開催します。ぜひとも多くの皆様にご参加頂き、率直なご意見を賜りたく存じます。

また、昨年末には本議会の公式フェイスブックページを開設し、多くの反響を頂きました。これからも信託に応えるべく、市民の皆様にとって有益な市政情報の発信に努めてまいります。

（上畠　寛弘）

議会広報委員会

委員長　長嶋　竜弘
副委員長　永田磨梨奈
委員　河村　琢磨
委員　保坂　令子
委員　西岡　幸子
委員　上畠　寛弘
委員　池田　実
委員　吉岡　和江